

第9回 気候変動適応近畿広域協議会 議事概要

令和5年2月2日（木）、13時30分～16時30分
オンライン開催

第1部・公開（13時30分～15時00分）

1. 開会挨拶・出席者紹介 —事務局、座長—

（環境省 近畿地方環境事務所 所長）

（座長 京都大学防災研究所 所長）

2. 令和4年度 広域アクションプラン策定事業近畿地域業務 活動報告 —近畿地方環境事務所—

資料1 気候変動適応における広域アクションプラン策定事業
令和4年度事業 活動報告

（座長）

色々と試行錯誤、苦勞して3年間進めていただき、的を絞った形で掲げた最終目標に従い、今回取りまとめいただいた。おそらく横の連携として色々な方法があり、共通部分を最終整理いただくなどして、近畿としての取りまとめとなれば良いと思う。暑熱、ゲリラ豪雨、お茶と、それぞれ面白く難しいところがある。何かご意見等あればお願い申し上げる。

（事務局）

補足として、暑熱対策分科会とゲリラ豪雨対策分科会の2つの分科会については、現在ご参加いただいているメンバーを基本としつつ、来年度も活動を続けていきたいと考えている。また、今回3分科会の広域アクションプランを作成したが、今年度末に完成でき次第、2府4県の下にある近畿の基礎自治体の皆様にDVDに収めて配布しようと思っている。その際、暑熱対策分科会、ゲリラ豪雨対策分科会は、現在の構成員に対して、来年度もご参加いただけるか確認し、新たにご参加いただく自治体も含め、暑熱対策分科会とゲリラ豪雨対策分科会を新たにスタートさせたいと考えている。ご承知おきいただければと思う。

（座長）

次年度も継続をベースに、新たな参加者も募るということで、色々まとまり出しているところであるため、一緒に進めていただくことは非常に楽しい、面白い点だと思う。是非積極的にご参加いただければありがたい。

3. 情報共有

(1) 環境省気候変動適応室からの情報共有

—環境省 気候変動適応室—

(座長)

気候変動適応課がある市区町村が存在することを初めて知った。多くの都道府県では気候変動適応センターが設けられているが、市区町村でそのような課がある自治体は既に多くあるのか。

(環境省 気候変動適応室)

江戸川区の場合は適応に大きな関心を持っており、課の名前にもなっているが全国的には珍しいケースであると思う。全国的にはどちらかというと今まで継続して実施してきている緩和の取組が中心になっており、その部署の中で適応も実施しているという位置付けが多いと認識している。

(座長)

江戸川区は防災や大規模水害の関係があるために適応に関心があるということで、これが一般的ではないという認識で良いか。

(環境省 気候変動適応室)

気象災害に関して、江戸川区は大きな河川に面し低い土地が多いため、課題意識を持っていることが課の名前に反映されたという認識を持っている。

(座長)

そのような意味では、地域の特性に応じた形で適応への意識あるいは興味を持つ方向なども違うということだろうか。

(環境省 気候変動適応室)

特に市区町村の場合、エリアが限られていることもあるかもしれないが、地域特性に応じた取組を行いやすい印象を持っている。

(座長)

そのような意味で、資料2 p.11のお役立ちツールとして紹介されている内容は自治体が活用しやすいかと思った。

(2) 近畿広域協議会構成員からの情報共有 —近畿地方整備局、近畿運輸局—

資料3 「流域治水」の取り組みについて

資料4 トラック運送業界向けの交通環境セミナー開催のお知らせについて

(座長)

流域治水プロジェクトの会議には、近畿地方環境事務所の地域適応推進専門官が近畿の各流域で協議会に参加いただいている。また、河川の治水計画の見直しにおいて、河川整備基本方針の温暖化に関する変更が現在全国7河川で実施されている。近畿がその最初として、新宮川で既に変更さ

れている状況である。また、流域治水のパンフレットは非常にわかりやすくまとめていただいている。自治体の皆様も是非ご覧いただければと思う。

(3) 適応ビジネスの事例紹介

— アフラック生命保険株式会社 —

資料5 適応ビジネスのご紹介
～アフラックミラーの気候変動対策への活用について～

(座長)

なぜスマホやタブレットではなく、ミラーなのか。普段は鏡として利用するものなのか。

(アフラック生命保険株式会社)

鏡の機能を有している。例えば一般的には脈拍を測るためにスマホを使うような場合があるが、毎日覗く鏡であれば、鏡を覗くだけで済むので手間を省け、生活動線の一部になるため測るのを忘れてしまうということが限りなく少なくなると考えている。生活動線の一部で何か覗くものがあるかと考えた時に、それは鏡だな、といった発想が原点となっている。

(座長)

私は鏡を見る機会が朝しかない。これは主に女性の方をターゲットにしているというわけでもないのか。

(アフラック生命保険株式会社)

朝1回でも見れば、例えば脈拍などが分かるようになっている。毎日覗くことで日々の変動もわかるので、そのようなことに活用できないかということが開発のスタートとなっている。

(座長)

少しイメージすることができた。また、スマートミラーという言葉は一般的にあるのか。

(アフラック生命保険株式会社)

スマートミラーは一般的にも世の中にあり、洗面台に組み込まれているものもある。

(有識者)

このミラーはデータを蓄積して、後から自分で確認できる機能は付いているか。

(アフラック生命保険株式会社)

カレンダー機能が搭載されており、毎日自分の測った表面温度や脈拍などを記録できるようになっている。

(有識者)

そのデータを基に、後で健康管理について指導を受けることもできるのか。

(アフラック生命保険株式会社)

可能である。日々の変化が非常に重要と思っているため、このような機能を搭載している。

(有識者)

熱中症対策も含めて人の健康管理は非常に大事であるため、そのようなものに使えるのであれば、企業でも取り組んでいただき、自治体あるいは医療関係とも連携していただけると広域の連携になるため非常に良いとお聞きした。

(有識者)

提供サービスの中に地方自治体からのお知らせを掲載予定とされているが、利用者がそのお知らせを見たときにそこから別のサイトを閲覧できるのか。

(アフラック生命保険株式会社)

そういった機能を搭載することはできる。

(有識者)

それは自治体が載せてほしい内容をプッシュしてお知らせするのか。もしくはアフラックが掲載内容を選択して掲載するのか。

(アフラック生命保険株式会社)

アフラックが選択するのではなく、自治体側でプッシュ機能を直接設定いただければと思う。

(有識者)

自治体の担当者がこのようなサービスをよく把握しておくこと活用できるという認識でよいか。

(アフラック生命保険株式会社)

ご認識の通りで、防災無線等でお知らせするような内容もアフラックミラーを使って通知することはできると考えている。

(有識者)

医療機関との連携についての質問だが、特定の契約をあらかじめ行う必要があると思うが、同時に医療機関側も同じシステムを持っている必要があるか。あるいはパソコンやスマホで対応できるのかどうか教えていただきたい。

(アフラック生命保険株式会社)

それぞれの医療機関もしくはその組織の環境に応じて対応することができる。例として紹介した福井大学にはアフラックミラーは不要で、集めた情報をデータとしてお送りしている。このような形で情報が欲しいといったことを予め決めていただければ、それぞれの医療機関もしくは大学等で処理ができるようになっている。

(有識者)

見守り機能は実際に現場に居合わせないとできないと思うがどうか。

(アフラック生命保険株式会社)

見守り機能は、例えば何か危ない時にボタンを押すとあらかじめ登録されている人に通知されるようになっており、もし自治体などを登録することができるのであれば、ボタンを押したときに通知を出せる仕組みになっている。

第2部・非公開（15時10分～16時30分）

4. 令和4年度 暑熱対策分科会 調査及び活動報告（広域APについて） —日本気象協会関西支社—

資料6 暑熱対策分科会 広域アクションプラン概要及び参考資料（非公開）

5. 令和4年度 お茶対策分科会 調査及び活動報告（広域APについて） —日本気象協会関西支社—

資料7 お茶対策分科会 広域アクションプラン概要及び参考資料（非公開）

6. 令和4年度 ゲリラ豪雨対策分科会 調査及び活動報告（広域APについて） —日本気象協会関西支社—

資料8 ゲリラ豪雨対策分科会 広域アクションプラン概要及び参考資料（非公開）

7. 令和4年度 普及啓発活動 活動報告 —地域計画建築研究所—

資料9 普及啓発 参考資料（非公開）

8. 意見交換

9. 閉会挨拶 —環境省 気候変動適応室—

配付資料一覧

- ・ 議事次第
- ・ 出席予定者名簿

第1部 公開資料

- ・ 資料1 気候変動適応における広域アクションプラン策定事業
令和4年度事業 活動報告
- ・ 資料2 環境省からの情報提供
- ・ 資料3 「流域治水」の取り組みについて
- ・ 資料4 トラック運送業界向けの交通環境セミナー開催のお知らせに
ついて
- ・ 資料5 適応ビジネスのご紹介
～アフラックミラーの気候変動対策への活用について～

第2部 非公開資料

- ・ 資料6 暑熱対策分科会 広域アクションプラン概要
及び 参考資料（非公開）
- ・ 資料7 お茶対策分科会 広域アクションプラン概要
及び 参考資料（非公開）
- ・ 資料8 ゲリラ豪雨対策分科会 広域アクションプラン概要
及び 参考資料（非公開）
- ・ 資料9 普及啓発 参考資料（非公開）
- ・ 別添1 暑熱対策分科会 広域アクションプラン
（最終案・未定稿）
- ・ 別添2 お茶対策分科会 広域アクションプラン
（最終案・未定稿）
- ・ 別添3 ゲリラ豪雨対策分科会 広域アクションプラン
（最終案・未定稿）